



国際ロータリー第2630地区 岐阜 Aグループ
岐阜中ロータリークラブ

平成 28 年 12 月 6 日(火)

第 1217 回例会 第 1135 号

Weekly Report

クラブスローガン
 地元と海外の地域社会における
 独自のプロジェクトの実施を

2016-17 RI テーマ
 人類に奉仕するロータリー

会長 秋保 賢一
 幹事 大橋 哲也
 発行 公共イメージ委員会
 例会 火曜日 12 時 30 分
 会場 岐阜都ホテル
 事務局 岐阜市神田町 2-2
 電話 058-264-9235

会長挨拶

会長代理 田辺雅範ガバナー補佐



今日は会長・副会長ともご不在とのことで、代理で皆様にご挨拶いたします。「最もよく仲間らに奉仕するもの、最も多く報いられる」という言葉をご承知と思います。この言葉はロータリー発祥からしばらくして、その目的や存在理由を明らかにするため、1911年の全米大会にて報告され、標語の一つになったものです。

19世紀の商習慣は競争で、出し抜かれる前に出し抜け、といったものであったのが、「常に他人の立場を考えて、他人のためになるように尽くすサービスを実践しているものが成功を収める。」ということがわかり始め、「職業は社会に奉仕する手段」ということが考えられたということです。

そして、20世紀は「人間は、英知の

光に照らして、正しい行為は報われる。職業は人類の奉仕の科学である」として「最も奉仕するもの、最も多く報いられる」という言葉になってきたということです。

しかし、その後、実践を伴わないロータリーの理念に飽き足らず、クラブとしての金銭的な奉仕や身体的な奉仕の実践的にすべきとの動きが出てきて、この実践派と理念派の対立が激化し、分裂をも招きかねない事態になってきたということです。

そこで、両派の考え方を取り入れて調和を図った決議 23-34 が、1923年の国際大会で採択され、論争に終止符が打たれたということです。日本のロータリーはこの決議 23-34 を大切に思っています。一度ご覧になってみてください。

幹事報告

幹事 大橋哲也

事務局が、11月29日工事になり、いよいよ引っ越しになります。電話等つながらなくなりますので、注意してください。

11月29日(火)は、休会になります。注意してください。



大橋哲也 幹事

卓話

『歯科の選び方』

卓話者 竹村安史 会員

※卓話はホームページの卓話集へ掲載しています。

岐阜中ロータリークラブ HP

<http://www.gifunaka.com/>



卓話者 竹村安史 会員

前例会の記録

第1216回

平成28年11月22日(火)

[点鐘] 12時30分

[ソング] 手に手つないで

[ゲスト]

[ビジター]

[出席] 会員総数31名 (出席免除3名)

本日出席15名 58.06%

[行事] 会員卓話『 歯科の選び方 』

竹村安史 会員

担当 副 S.A.A.

次回予定

第1218回

平成28年12月13日(火)

[点鐘] 12時30分

[行事] 卓話

担当 国際奉仕委員会